

# クボタ空調株式会社 栃木工場

## 1. 事業概要

<b>住所</b>	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 28の1
<b>従業員数 (協力会社)</b>	280名 (H26(2014).4.1現在)
<b>敷地面積</b>	32357㎡
<b>事業内容</b>	空調機の開発、設計、製造



## 主要製品

### 空調機器



横型空調機



デシカント空調

## 工場変遷(沿革)

1970. 10	久保田鉄工(株)と米国トレーン社の合併会社としてクボタトレーン(株)を設立
1971. 10	栃木工場操業開始
1980	トレーン社との合併を解消
1983. 10	新組立棟落成
1994. 04	テクニカルセンター落成
1998	社名をクボタトレーン(株)よりクボタ空調(株)へ変更

# クボタ空調株式会社 栃木工場

## 2.環境方針

### ISO環境方針

#### 基本方針

当社は、空調機器の開発、設計、製造の全てのプロセスにおいて「地球規模で継続的な発展が可能な会社」「企業と市民が相互信頼のもとに共存する社会」の実現を目指し、地球環境の保全に配慮した活動、製品及びサービスの提供に努めます。

#### 実施事項

1. 当社の活動、製品及びサービスにおける環境側面を適切に把握し、汚染の防止を図る環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努めます。
2. 当社の活動、製品及びサービスの環境側面に関連する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項の遵守に努めます。
3. 当社は環境影響の軽減を図る目標を定め、その達成に努めます。  
重点実施項は次の通りとします。
  - (1) 省資源、省エネルギー活動の推進
  - (2) 廃棄物のリサイクルと削減活動の推進
  - (3) 有害化学物質の代替化、又は削減活動の推進
  - (4) 環境に配慮した物品の使用及び製品の開発・設計の推進
4. この環境方針は文書化し、組織で働く又は組織のために働く全ての人に周知して、実施すると共に維持します。
5. 地域での環境保全活動への参画、支持に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人の求めに応じて入手可能なものとします。

### ISO認証取得状況

1.	2004.08	ISO14001	1996年版	認証取得
2.	2005.08	ISO14001	2004年版	定期審査/移行審査
3.	2006.07	ISO14001	2004年版	定期審査
4.	2007.06	ISO14001	2004年版	更新審査
5.	2008.08	ISO14001	2004年版	定期審査
6.	2009.08	ISO14001	2004年版	定期審査
7.	2010.07	ISO14001	2004年版	更新審査
8.	2011.08	ISO14001	2004年版	定期審査
9.	2012.07	ISO14001	2004年版	定期審査
10.	2013.07	ISO14001	2004年版	更新審査
11.	2014.07	ISO14001	2004年版	定期審査

# クボタ空調株式会社 栃木工場

## 3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度	2013年度	
					実績	自己評価 ※4,5
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位※2	2008	▲14%	+24.3%	△
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲14%	+26.2%	△
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲14%	▲3.0%	○
		再資源化率※3	-	99.5%以上	99.9%	○
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲21%	+17.4%	△
化学物質の管理	VOC※1の削減	VOC排出原単位	2008	▲21%	-	-

※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は基準年度の値を使用します。

※3 再資源化率(%) = (有価物売却量+社外再資源化量) ÷ (有価物売却量+社外再資源化量+埋立量) × 100  
社外再資源化量には熱回収量を含みます。

※4 ▲は「マイナス」を意味します。

※5 自己評価の基準 ◎目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

## 4.環境パフォーマンス

### ①地球温暖化の防止



### ②循環型社会の形成(廃棄物)



### ③循環型社会の形成(水)



### ④化学物質の管理



※1 原単位2008年度比:2008年度の内作生産金額ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

# クボタ空調株式会社 栃木工場

## 4.環境パフォーマンス(つづき)

PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2013年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
71	塩化第二鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
448	メチレンビス(4, 1-フェニレン)イソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 6.環境トピックス

### 省エネ活動の推進

製造改革によりコンパクト型空調機組立ラインの構築に引き続き大型J型空調機組立ラインも完成し、生産性の向上により省エネ効果も期待が持てます。

## 7.環境コミュニケーション

### ① 地域美化活動

名称 工場周辺の清掃活動  
日付 2013年6月19日  
参加人数 20名

### ② 教育への支援

名称 緊急事態想定訓練  
日付 2013年7月8日



## クボタ空調株式会社 栃木工場

## 8. サイトデータ

## INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	985
水使用量	万m <sup>3</sup>	6.4

## OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	1,987
---------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		電着小型ボイラー			電着乾燥炉		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・K値規制 ともにm <sup>3</sup> N/h		K値規制	8	-	※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	総量規制:m <sup>3</sup> N/h, 濃度規制:ppm		濃度規制	—	32.5	濃度規制	230	5未満
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N		濃度規制	—	0.005未満	濃度規制	0.2	0.005未満

排水量	公共用水域 万m <sup>3</sup>	6.4	
	下水道 万m <sup>3</sup>	—	
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	7.4, 7.7
		BOD	mg/ℓ	30	9.8
		COD	mg/ℓ	-	-
		窒素	mg/ℓ	-	-
		りん	mg/ℓ	-	-
		六価クロム	mg/ℓ	0.1	ND
		鉛	mg/ℓ	0.1	ND
		COD総量規制値	kg/日	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/ℓ			-	-
COD	mg/ℓ			-	-
SS	mg/ℓ			-	-

廃棄物排出量	t	168
再資源化率	%	99.9%